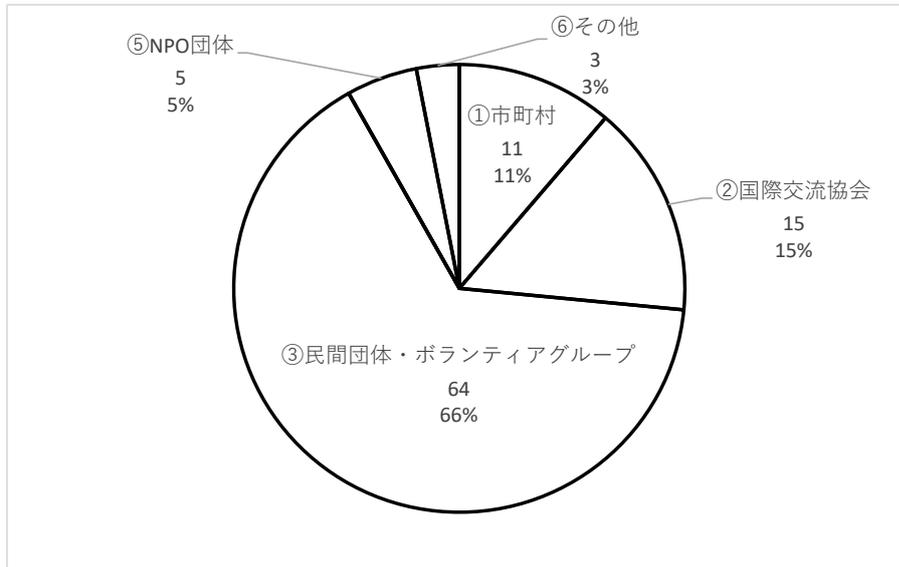


令和3年度外国人住民の日本語学習に関する調査（日本語教室）

※回答数 95団体

◆日本語教室の概要について

問1 主催団体 ※複数の団体で主催している教室があるため、合計は教室数と一致しない。



問2 国籍別学習者数

総数 3,739人

(内訳)	国籍	人数	割合
	中国	1,648人	44.1%
	ベトナム	504人	13.5%
	フィリピン	345人	9.2%
	韓国	90人	2.4%
	ブラジル	58人	1.6%
	ネパール	159人	4.3%
	ペルー	21人	0.6%
	タイ	121人	3.2%
	台湾	82人	2.2%
	インドネシア	164人	4.4%
	その他	547人	14.6%

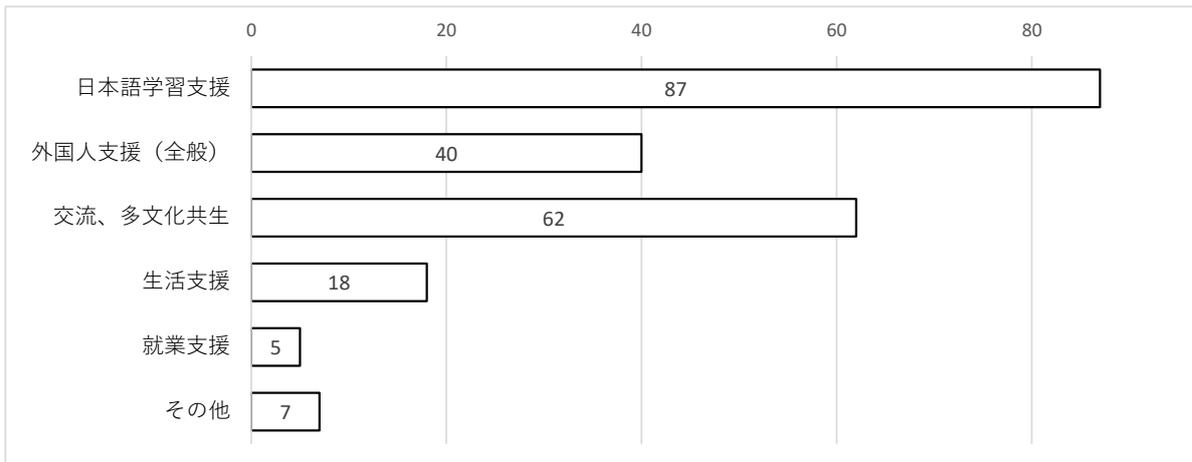
問3 スタッフ数

日本語指導スタッフ 1,548人

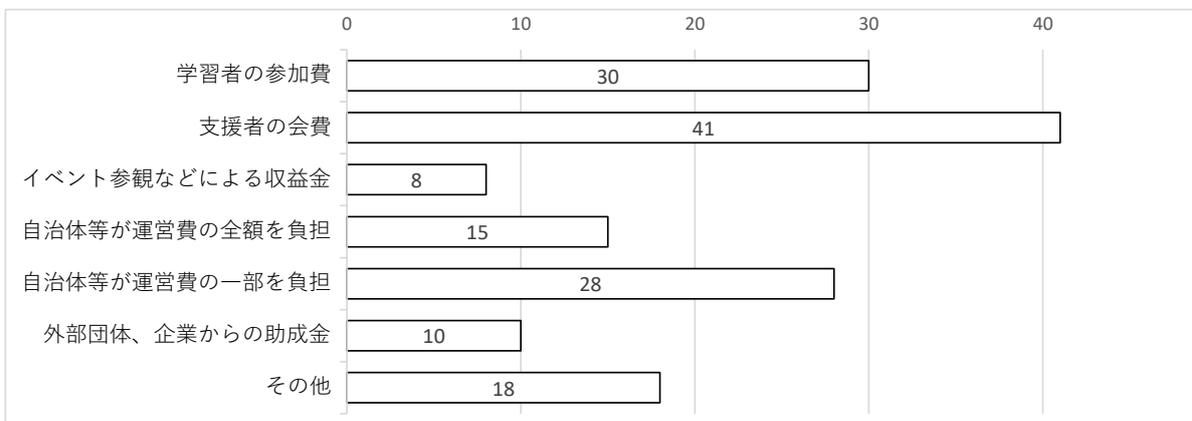
(内訳)	資格/経路	人数	割合
	日本語教育に関する専門講座を修了した者	178人	11.5%
	日本語教育能力検定試験に合格した者	72人	4.7%
	その他	663人	42.8%
	(不明)	635人	41.0%

◆日本語教室の運営について

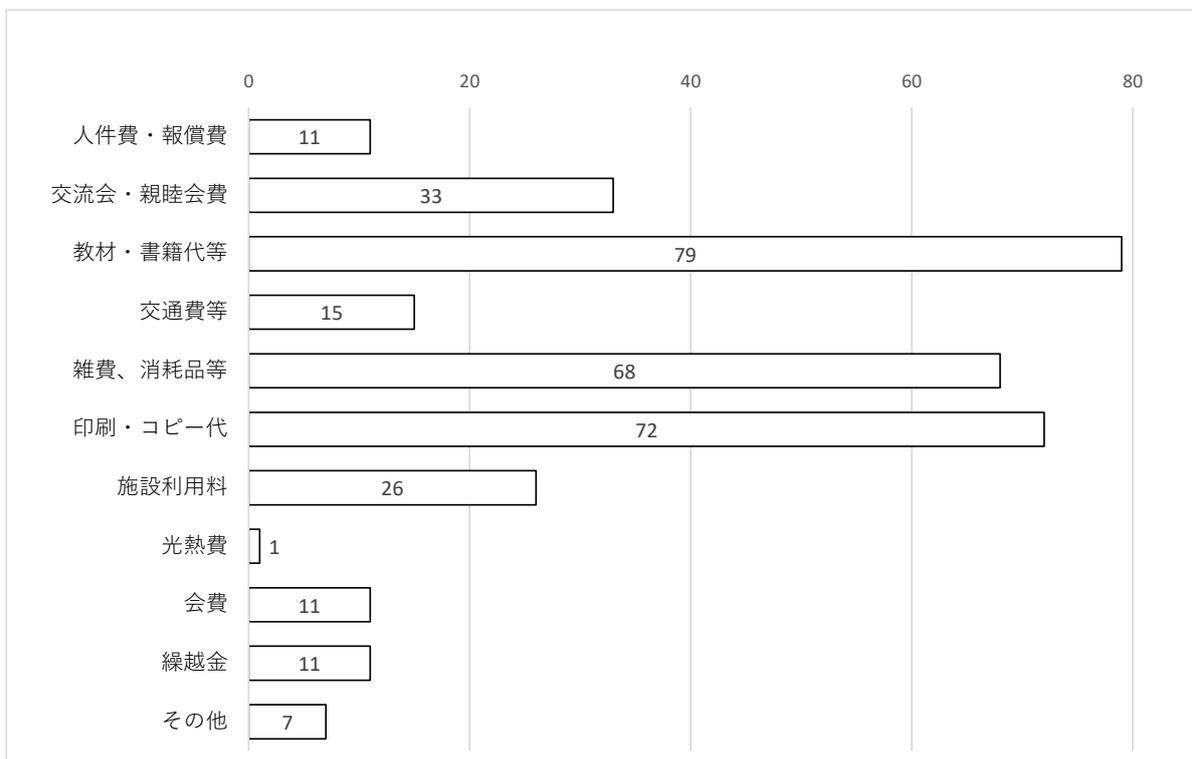
問4 日本語教育を設置した目的（複数回答可）



問5 運営資金確保の方法（複数回答可）

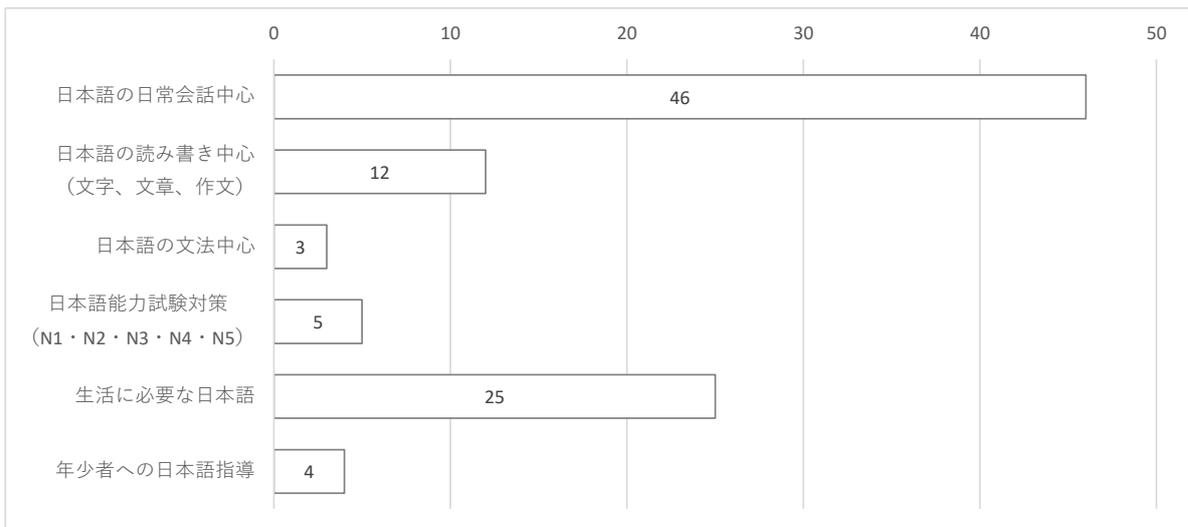


問6 活動資金の支出（複数回答可）

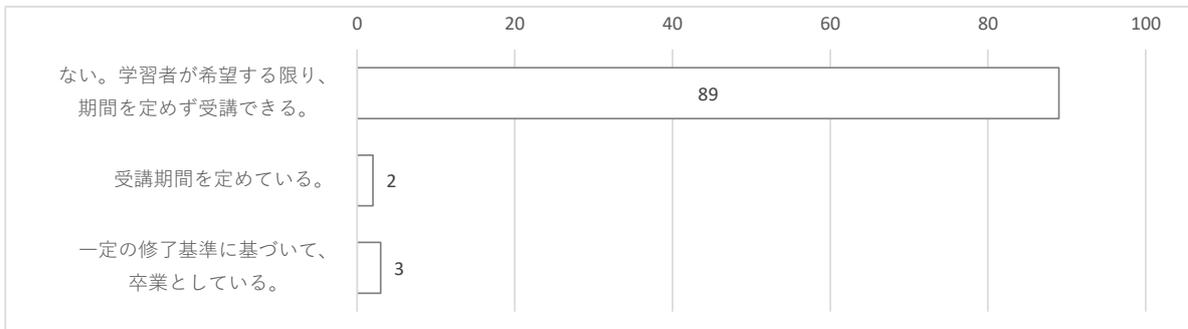


◆活動内容について

問7 日本語学習について、特に重視して取り組んでいるもの（1つのみ回答）

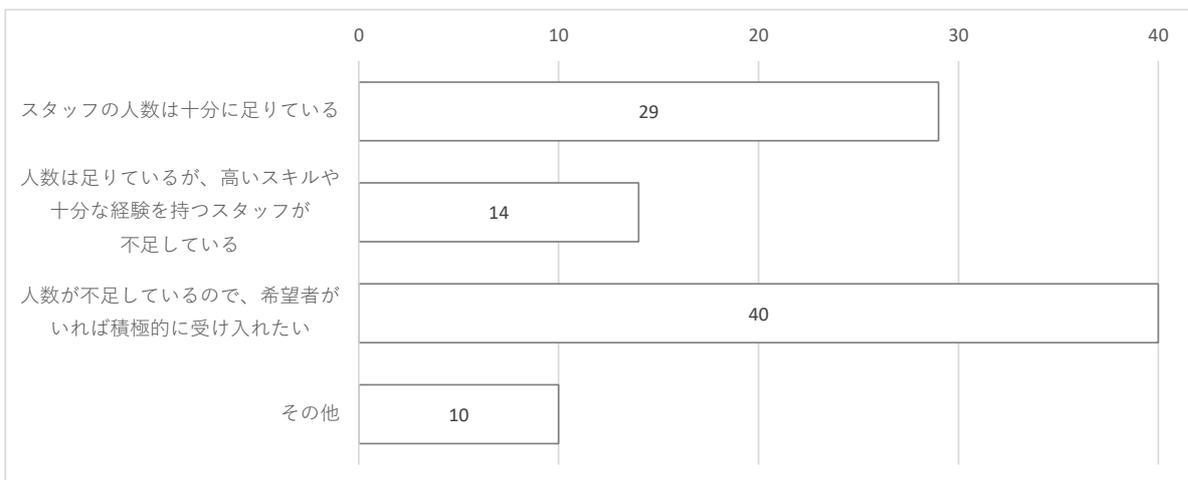


問8 教室には、修了（卒業）の基準

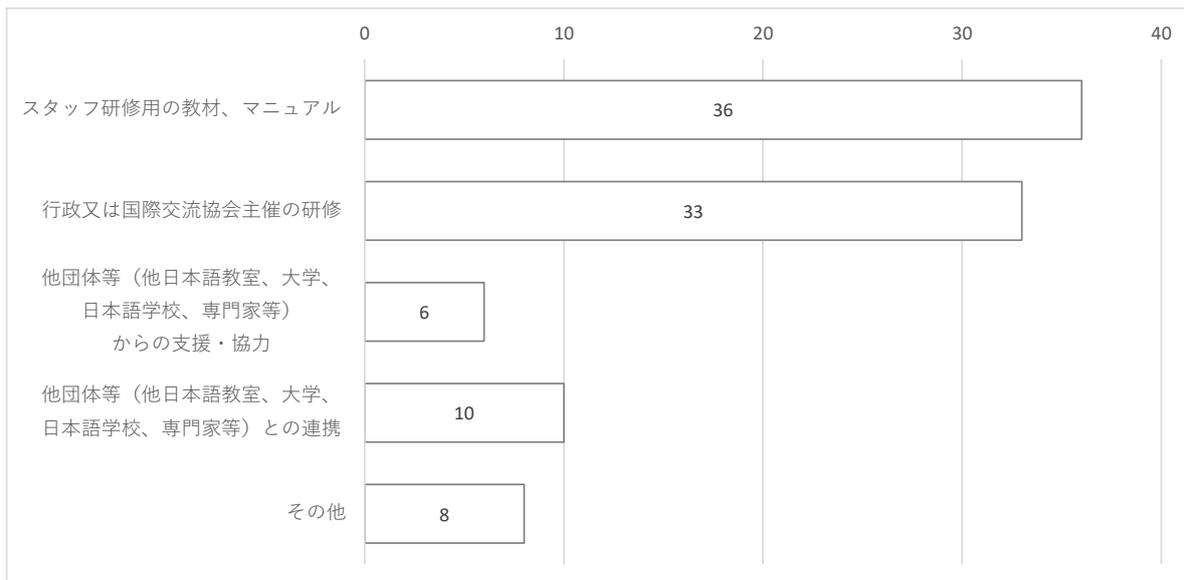


◆教室の実施体制と日本語指導スタッフのスキルアップ等について

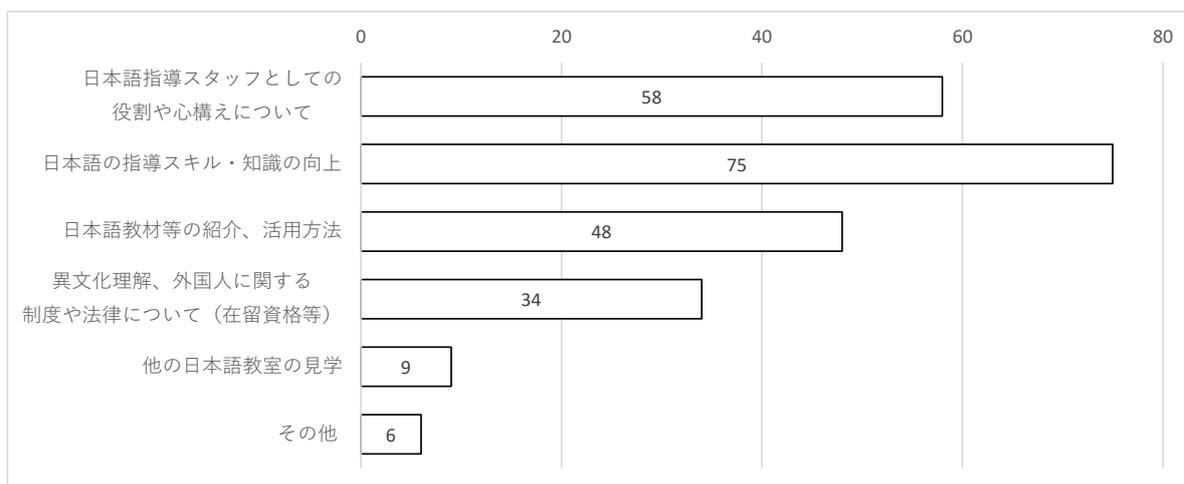
問9 現在の日本語指導スタッフの充足状況について（1つのみ回答）



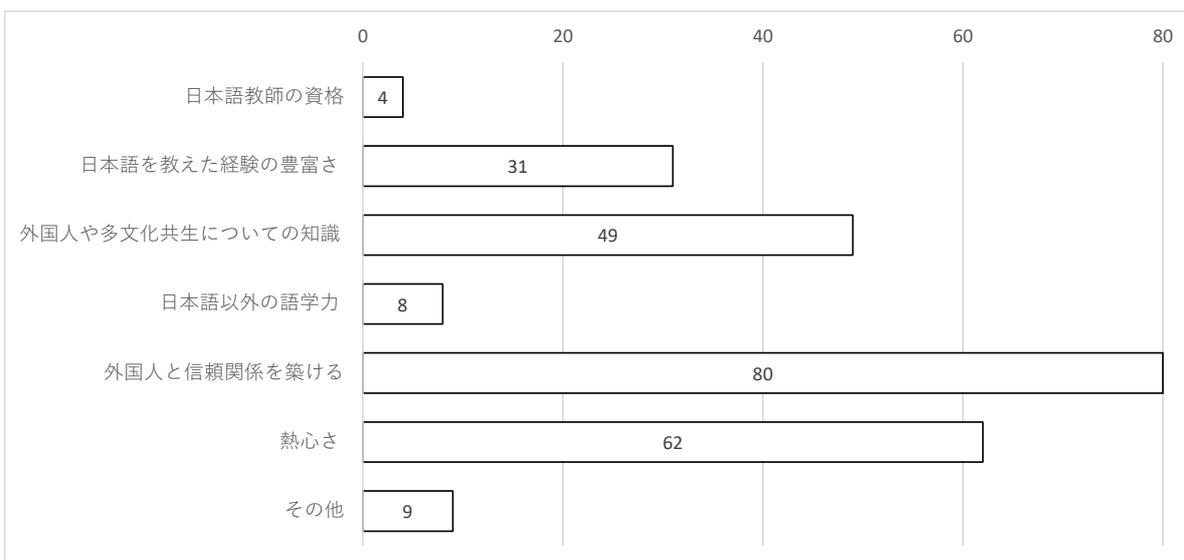
問 1 0 日本語指導スタッフのスキルアップのために有益と思われるもの（1つのみ回答）



問 1 1 日本語指導スタッフを対象とした研修について特に必要と考えられること（3つまで回答）

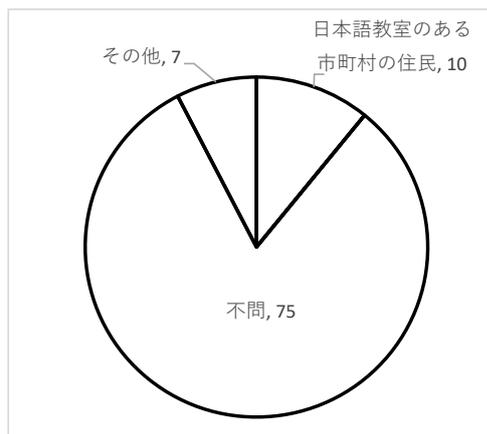


問 1 2 日本語指導スタッフに求める能力や姿勢などについて、重要なもの（3つまで回答）

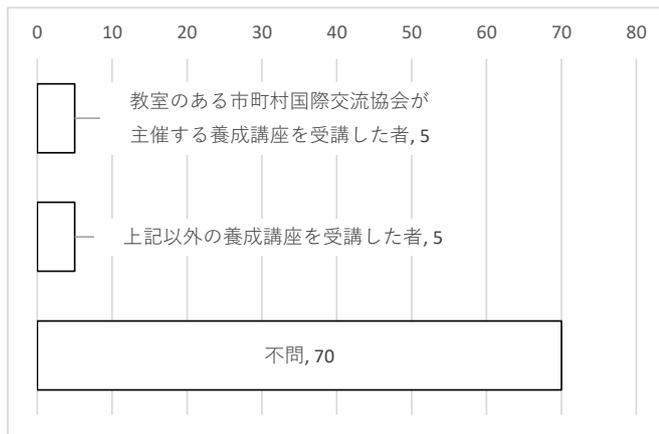


問13 日本語指導スタッフになるための要件

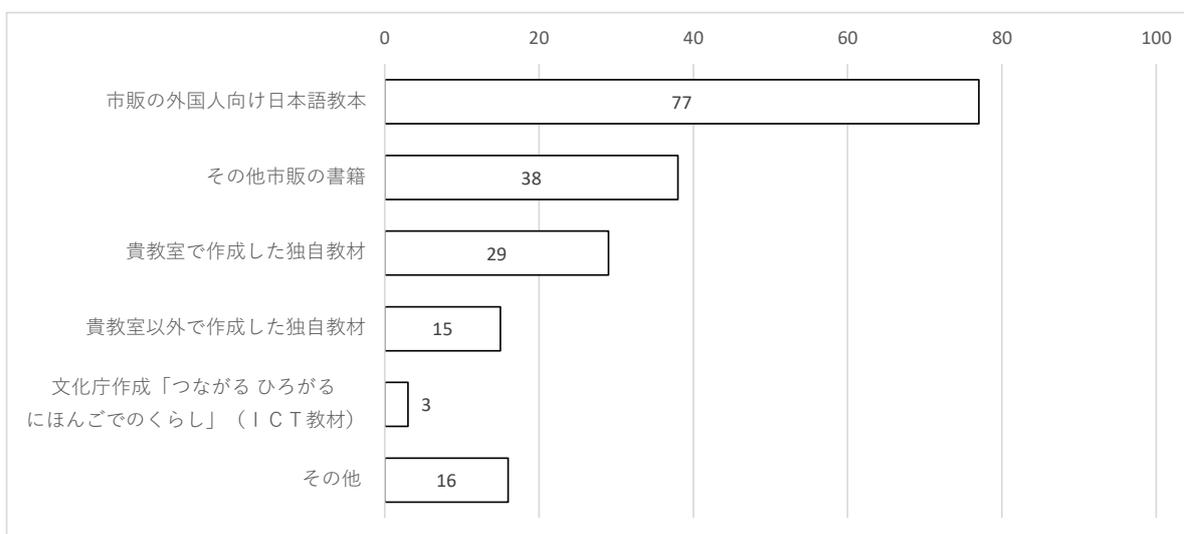
◀住まい▶



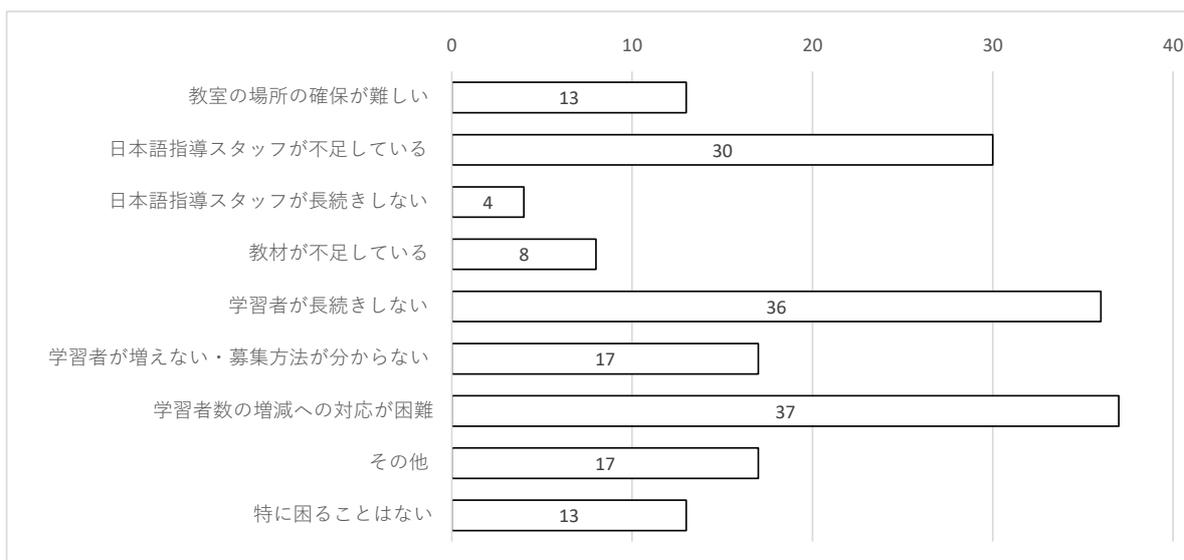
◀研修▶ (複数可)



問14 使用している教材について・ICT教材の活用について (複数回答可)

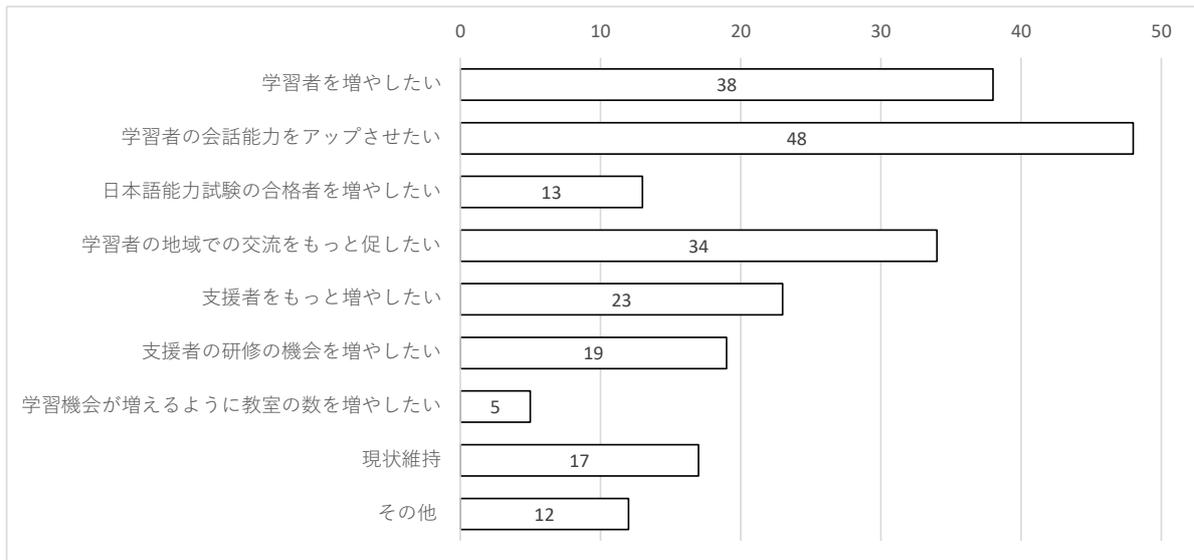


問15 教室の運営などで、困っていること (3つまで回答)



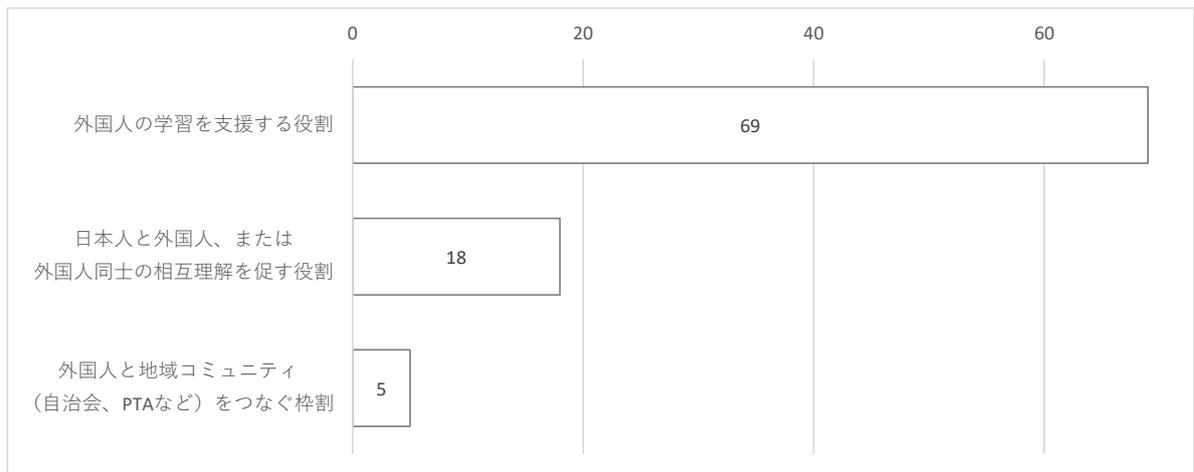
◆今後について

問16 今後の教室の目標（3つまで回答）

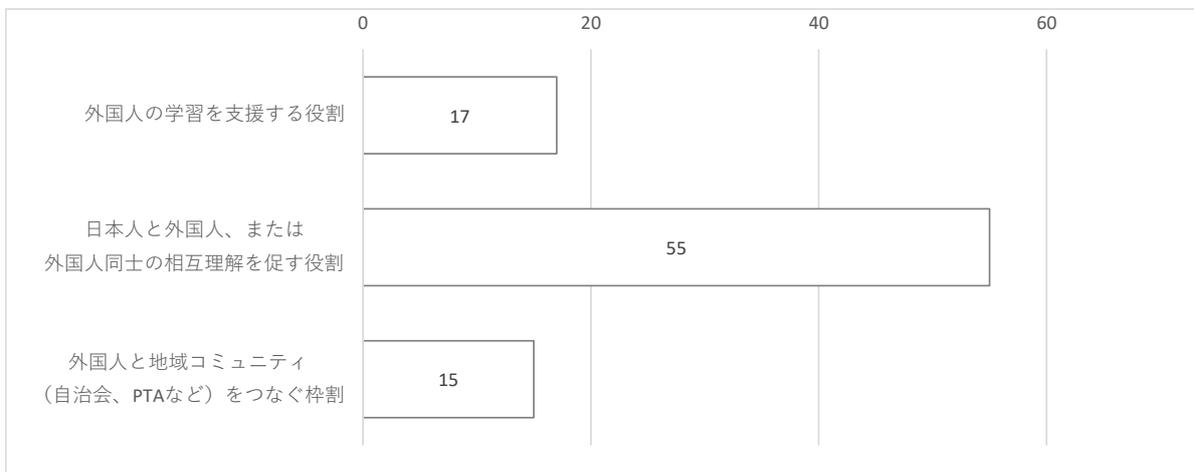


問17 今後、日本語教室が担っていく役割で重要と思われるもの

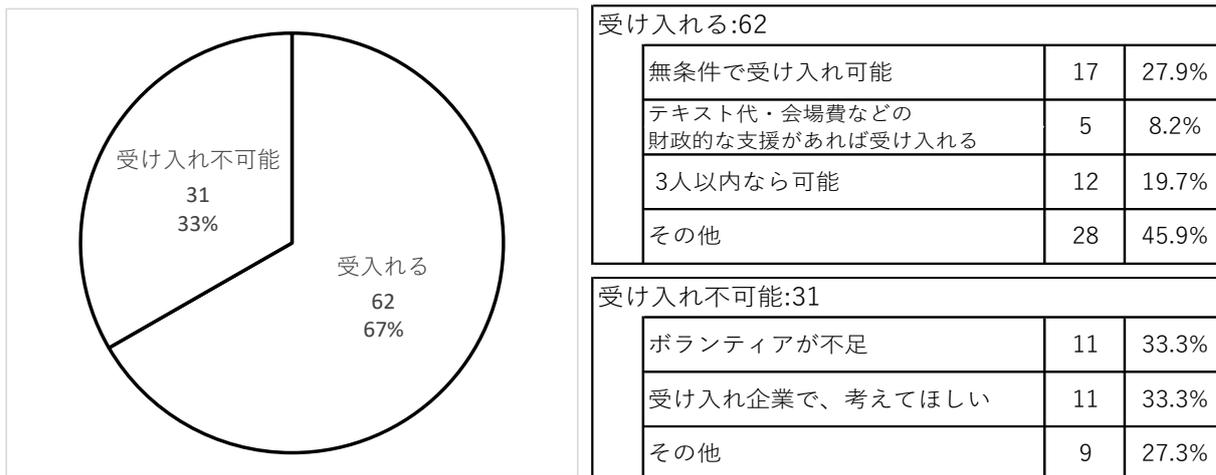
《一番重要と思われるもの》



《二番目に重要と思われるもの》



問18 今後、企業から研修生の受け入れを頼まれた場合について



問19 今後、地域の日本語教室について行政に期待すること（3つまで回答）

